

## ○一般社団法人 日本森林学会 2022 年度第 1 回（通算第 480 回）理事会 議事録

日時：2022 年 4 月 28 日（木）13:00～16:40

場所：日林協会館 3 階大会議室，Web 会議システム（Microsoft Teams）を併用して開催

開催者：丹下 健

出席者：会長）丹下 健，副会長）深町加津枝，正木 隆，理事）玉井幸治，柿澤宏昭，林田光祐，伊藤 哲，松本麻子，井上真理子，枚田邦宏，井鷲裕司，高山範理，田中 浩，黒田慶子，船田 良，大久保達弘，横井 秀一，梶本卓也，小島克己，太田祐子，監事）駒木貴彰，戸丸信弘，主事）小田智基，山田祐亮，滝 久智，吉藤奈津子，鶴田燃海，星野大介，小山泰弘，山崎理正，稲永路子，竹内啓恵，水内佑輔，荒木眞岳，杉浦克明，編集部）町田庸子 [学会誌刊行センター]，事務局）稲村崇子，オブザーバー）高木美貴 [林野庁]，八坂通泰 [全林試協]，山中典和 [第134回大会運営委員会委員長]，石崎涼子 [森林総研]，櫃間 岳 [森林総研]

議長：丹下 健

Web 会議システム（Microsoft Teams）にて出席者全員が問題なく参加できており，出席者が適時的確な意見表明が互いにできることを確認し，議案の審議に入った。

### 審議事項：

本理事会で議論・決定された事項は以下のとおりである。

#### 1. 2021 年度事業報告

玉井理事（総務担当）から提案され，2022 年定時総会の承認を求めることとなった。

#### 2. 2022 年度事業計画の修正

玉井理事（総務担当）より，2021 年度第 4 回メール理事会で承認済みの 2022 年度事業計画について，第 135 回日本森林学会大会の準備を「東京農業大学を開催機関とし，大会運営委員長を委嘱し，大会運営委員会を組織する」に変更すること，会員名簿の発行について追加する修正案が提案され，提案の通り承認された。

#### 3. 次回理事会・定時総会，総会時のシンポジウムの持ち方について

玉井理事（総務担当）より，2022 年 5 月 20 日の理事会・定時総会を現地と Web 会議の同時開催とし，公開シンポジウムを中止とすることが提案された。提案のとおり承認された。

#### 4. 日林誌のオンラインジャーナル化について

丹下会長より，日林誌のオンラインジャーナル化及び関連措置について 5 月の定時総会に諮って良いか提案があった。提案の通り承認された。総会には，より詳しい資料を準備することにした。

#### 5. 日林誌のオンラインジャーナル化に伴う規則等の改正

玉井理事（総務担当）より，日林誌のオンラインジャーナル化に伴う日本森林学会会員規則，日本森林学会学会誌等刊行規則，日本森林学会収入支出内規の改正について提案があった。提案された改正案の通り，日本森林学会会員規則，日本森林学会学会誌等刊行規則の改正については

5月の定時総会に諮ることが承認された。これら規則の改正が5月定時総会で承認された場合の条件付きで、日本森林学会支出内規の改正が承認された。

#### **6. 第134回大会（2023年）（鳥取大学）大会委員長の委嘱**

玉井理事（総務担当）から、応用森林学会からの推薦により、第134回日本森林学会大会運営委員長を山中典和会員（鳥取大学）に委嘱してよいか提案があり、提案の通り承認された。

#### **7. 第135回大会（2024年）（東京農業大学）大会委員長の委嘱**

玉井理事（総務担当）から、関東森林学会からの推薦により、第135回日本森林学会大会運営委員長を佐藤孝吉会員（東京農業大学）に委嘱してよいか提案があり、提案の通り承認された。

#### **8. 2021年度決算報告**

柿澤理事（会計担当）から、2021年度決算報告について提案があり、提案の通り承認され、2022年定時総会の承認を求めることになった。本来計上されるはずだった日林誌103-6号の発行と請求、編集委託費の請求が事業年度内に間に合わず、印刷製本費・編集費の212万円、103-6号の発送費・保管費33万円が次年度の計上となったこと、本部事業は874,205円黒字、大会事業は1,531,698円黒字、学会全体では約278万円黒字であったこと、大会事業の黒字は利息を加算した1,531,786円を指定正味財産へ繰り入れたこと等が説明された。

#### **9. 2022年度予算の修正**

柿澤理事（会計担当）から、2021年度第4回メール理事会で承認済みの2022年度予算について、半期決算の期末決算への変更、印刷物収入の増額、発行が遅れている日林誌103-6号の印刷・製本、編集、発送費の計上、名簿刊行費の計上、人件費の修正、日林誌オンライン化検討に伴う諸経費の計上が提案された。提案のとおり承認された。

#### **10. 「2-10 日本森林学会会計処理内規」の改正**

柿澤理事（会計担当）から、すでに廃止されている名簿刊行積立資産を特定資産から削除する改正案が提案され、提案の通り承認された。

#### **11. 「3-2 日本森林学会誌執筆要領」の改正**

正木理事（日林誌編集担当）から、ウェブ投稿についての現状にそぐわない記述の削除、学術用語の選択についての方針の追加が提案された。（林学会2001）を（財団法人林学会2001）に修正することで、提案の通り承認された。

#### **12. 日本森林学会誌原稿審査の基本方針の改正**

正木理事（日林誌編集担当）から、書評や特集号巻頭言等の種別「その他」の原稿について、利害関係等にバイアスがないこと等の審査基準の追加が提案された。提案の通り承認された。

#### **13. 第133回年次大会・学会企画ダイバーシティ推進シンポジウムの録画動画公開**

高山理事（ダイバーシティ推進担当）から、第133回大会企画シンポジウム「森林学会におけるダイバーシティ～多様な立場に寄り添える学会を目指して～」の録画動画を2023年3月末までの期間、会員限定でYouTube上で公開することが提案された。提案の通り承認された。

#### 14. 「2-3 Journal of Forest Research 論文賞審査・選考内規」の改正

井鷲理事（表彰担当）に代わって伊藤理事（JFR 編集担当）から、論文賞審査における評価委員の人数変更、評価委員による論文評価方法の簡素化が提案された。提案のとおり承認された。

#### 15. 「2-7 Journal of Forest Research 編集委員会内規」の改正

伊藤理事（JFR 編集担当）から、各専門部門の副編集委員長の数を若干名とする改正案が提案された。提案のとおり承認された。

#### 16. 2021 年度林業遺産の承認

深町理事（林業遺産担当）から、「林業機械化センター保存の森林鉄道車両群と根利森林鉄道遺構」、「長走風穴種子貯蔵庫遺構」、「旧青森営林局庁舎（現祖森氏森林博物館）」の 3 件の林業遺産登録について提案され、提案の通り承認された。

#### 17. 第 133 回年次大会・企画委員会開催シンポジウムの録画動画公開

枚田理事（企画担当）から、2022 年 3 月 26 日（土）に開催したシンポジウム「4 年制大学における森林科学教育の現状と今後の方向—技術者教育の視点から」の録画動画を 2022 年 5 月末までの期間、会員限定で YouTube 上で公開することが提案され、提案の通り承認された。

#### 18. 前回までの議事録の承認

2021 年度第 4 回（通算第 479 回）理事会・連携学会合同会議、2 回のメール理事会（2021 年度第 4 回、2022 年度第 1 回）の議事録が承認された

#### 報告事項：

本理事会で報告された事項は以下のとおりである。

##### 1. 第 133 回大会（山形大学）の開催報告

林田理事（大会担当）から、研究発表と学会企画、各種式典はオンライン開催、公開シンポジウムのみ山形市の会場とオンラインとのハイブリッド形式で開催し、公開合同シンポジウム「東北の森から 一山の文化と人々の暮らし—」には 349 名の視聴参加があり盛況であったこと、大会参加者は 1,158 名で、発表件数 727 件（口頭 210 件、ポスター 517 件）であったこと等が報告された。大会運営について、総務担当やプログラム編成担当とともに定期的なオンラインミーティングを行うことで運営がスムーズに進んだことが報告され、今後は、総務担当やプログラム編成担当が大会運営委員会に参画するという方式が望ましいとの提案があった。

梶本理事（プログラム編成担当）から、プログラム編成委員と公募セッション・企画シンポジウムのコーディネータを対象とした大会アンケートの結果が報告された。

議論の中で、告知の重要性や学会主導でのコミュニティスペースを用意した方が良い等の意見が出た。

##### 2. 第 133 回大会（山形大学）の学会企画の報告

枚田理事（企画担当）から、企画委員会による「4 年制大学における森林科学教育の現状と今後の方向—技術者教育の視点から」に約 90 名の参加者あり好評であったことが報告された。

高山理事（ダイバーシティ担当）から、ダイバーシティ推進シンポジウム「森林学会における

ダイバーシティ～多様な立場に寄り添える学会を目指して～」を開催し、165名の参加者があったこと、会員サポート企画は「あつまれ！がっかいの森－ゆるっと話そう ワークライフバランスとか－」と「あつまれ！がっかいの森－ゆるっと話そう キャリア形成とか－」を2部構成で開催し、それぞれ16名、30名の参加者があったことが報告された。

大久保理事（国際交流担当）から、「帰国留学生会員およびアジアの林学会とのネットワークフォーラム」に11件の発表があり、オンライン交流会に20名の参加があったことが報告された。

太田理事（中等教育連携推進担当）から、第9回高校生ポスター発表の概要が報告された。発表件数は20校27件、当日参加者は70名（概数）、最優秀賞2件、優秀賞3件、特別賞2件を決定し、学会企画「大学での森林の学びや研究を知ろう－高校生と大学生との交流を交えて－」の中で表彰式を実施したことが報告された。また、国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」の助成によりポスター集の印刷や動画制作謝礼等を行ったこと、大日本山林会の支援により、受賞校記念の楯、参加記念品や書籍を贈呈したことが報告された。

### 3. 第134回大会（鳥取大学）の開催準備報告

玉井理事（総務担当）から、大会運営委員会の組織、開催日程と開催場所について報告された。

### 4. 監事監査報告

玉井理事、駒木監事、戸丸監事から、2022年4月14日（木）に実施した監事監査について報告があった。特に両監事からは、「指定正味財産の活用」と「事業計画での“検討する“」の記述について指摘したと、特に報告があった。

### 5. 総務担当からの報告

玉井理事（総務担当）から、3件の共催・後援・協賛依頼の承認、「図説 日本の森林」（朝倉書店）の編集、会員動向について報告された。

### 6. 選挙管理委員会からの報告

玉井理事（選挙管理委員長）から、2021年12月20日に告示された次期理事・監事候補の互選投票の結果、10名の理事候補と2名の監事候補が選出されたこと、2022年2月6日に会長・副会長候補互選会議を開催し、会長候補として丹下健会員（東京大学）、副会長候補として、正木隆会員（森林総合研究所）、太田祐子会員（日本大学）が選出されたことが報告された。

### 7. 会計担当からの報告

柿澤理事（会計担当）から、2021年度決算報告についての監事監査、日林誌オンライン化に伴う収支変化の試算について報告された。

### 8. 日林誌編集担当からの報告

正木理事（日林誌編集担当）から、投稿審査状況と5月の定時総会後の編集主事および編集委員の交代について報告された。

### 9. 森林科学編集担当からの報告

松本理事（森林科学編集担当）から、主事の交代、編集委員の交代、「森林科学」の発行状況に

ついて報告された。

## 10. ダイバーシティ担当からの報告

高山理事（ダイバーシティ担当）から、第 133 回日本森林学会大会において保育園内のコロナ感染拡大による施設休園につき、託児申請はキャンセルになったこと、男女共同参画学協会連絡会運営委員会に出席し、第 133 回大会ダイバーシティ推進シンポジウムおよびサポート企画について報告したことが報告された。

## 11. 表彰担当からの報告

井鷲理事から、第 133 回大会の授賞式及び受賞者講演会について多くの視聴参加があり盛況であったこと、第 133 回大会の学生ポスター賞は 170 件の応募があり 18 名に賞を授与したこと、審査結果の集計には Google Forms を使用し、集計作業は効率的に行われたこと、1 年間に予定されている主な学術賞、日本学術振興会賞に会員からの応募がなかったこと、2021 年度日本学術振興会育志賞に本会から推薦したが受賞には至らなかったこと、2022 年度の推薦希望を現在募集中（5 月 13 日締め切り）であること、本会から推薦した谷誠会員が 2022 年度日本農学賞および読売農学賞を受賞し、2022 年 4 月 5 日に授与式と受賞者講演が行われたことが報告された。

## 12. JFR 担当からの報告

伊藤理事から、2021 年の予想 IF が 1.5 程度であること、JFR 出版状況、Invited Review の掲載予定、特集企画の掲載予定、Article collection の掲載、プレプリントサーバーで公開されている原稿の投稿の取り扱い、物故者を著者に含める場合の申し合わせ事項を制定し、投稿原稿の著者となることに対して物故者または遺族の同意が得られていること、物故者の投稿原稿へ貢献が確認できること、所属に「The late」を記載することの 3 つを要件とすること、Reviewer List の掲載、データペーパーの掲載について検討中であることが報告された。

## 13. 広報担当からの報告

井上理事及び小山主事から、学会大会開催にかかる情報発信の協力、メールマガジンの発行状況、ウェブサイトの更新記録について報告された。

## 14. 林業遺産担当からの報告

深町理事から、2022 年度の林業遺産の選定スケジュールについて報告された。

## 15. JABEE 担当からの報告

枚田理事から、学会企画の CPD の取り組みについて報告された。

議事録作成者：玉井幸治、小田智基